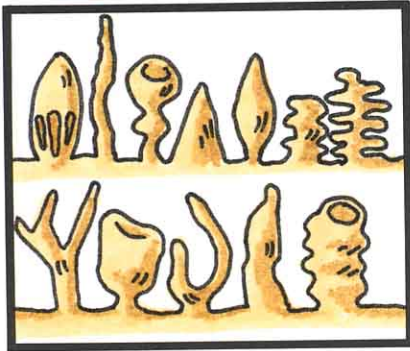
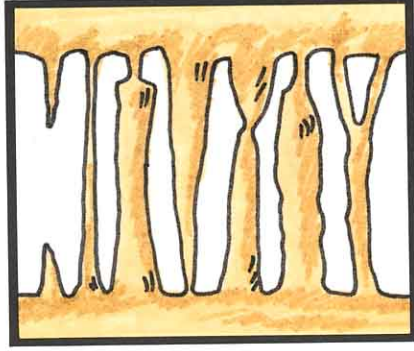


鍾乳洞の中には①

地底で育つ謎の生物みたい。



●石筍
天井から水滴が洞の底に落ちると、水滴の中に残っている炭酸カルシウムの大部分が結晶になって残ります。水滴は広がり、その中心部にいちばん多くの結晶ができ、これが高さを増して石筍となります。



●石柱(いしばしら)
天井からのびるつらら石や鍾乳管と石筍が成長し、上下がつながります。これを石柱といい、形はいろいろでぶつう石筍が伸びてきたものが美しい形とされています。



●カーテン
天井の傾斜をつたわってしみ出した水が筋になって流れてゆきます。流れながら炭酸ガスを放出し、炭酸カルシウムの結晶をつくり、その結晶は岩面に直角な方向に並び結合して薄い膜状のものとなり、成長を続けます。